

ご挨拶

顎顔面バイオメカニクス学会 (AOB) の吸収合併にあたって

私の手元に Journal of Orofacial Biomechanics Vol.2 No.1 1996 がある。20 年以上前なのであまり記憶が定かでないが、私が本学会に入会し、初めて参加した時の抄録が掲載されている。以来、毎年の参加は果たせなかったが、その後、初代会長に命ぜられるまま役員となり、果ては会長を拝命する仕儀となった。学会の会長など、とても、とても..と躊躇する気持ちはもちろんあったが、これまでのいきさつを考えると辞するわけにもいかず、いったん東京医科歯科大学の高久田先生に会長職をおまかせした時期もあったが、再び会長職を命ぜられ、学会の幕引きをするのは私の責務と理解しつつお引き受けした。

学会は学術的な意義を見出して社会に還元するという大義名分があり、AOB も例外ではないが、AOB がこの大義名分を果たすことは困難になってきたため、日本歯科産業学会 (JSDP) との吸収合併を起案し総会で承認、一任された。AOB の学術活動そのものは大義名分を忘れるかのごとく研究発表の本音のおもしろい部分が垣間見えることも多く、質問しやすい環境でたいへんすばらしい学会であったと確信している。力学をあつかう本学会は、これまで見逃しがちであった骨の変形や歯の移動のメカニズム、さらには不可解な臨床症状の成因を幾度となく、心地よいほどに理詰めで整理してもらい、私にとってはたいへん貴重な学会であった。

しかしながら、大きな学会でも同様の演題が散見されるようになり、次第に数の論理に基づき、大きな学会での発表が優先される流れを食い止めることはできなかった。この点は私自身の力不足を感じており、学会の合併吸収という仕儀にいたったことは誠に申し訳なく思っている。なかでも痛恨のきわみとして申し上げておきたいことは、私が会長職にある時に、四方八方に手をつくし新規入会者を募って確保して下さった会員の方々、そしてそれに応じて入会して下さったの方々に対して特段に申し訳ない気持ちがこみ上げてくる。

AOB の名前が消え去ることは残念でまことに寂しいかぎりであるが、最後の最後までつたない会長につきあって支援して下さったすべての方々には感謝申し上げたい。

なお、AOB の合併吸収先の JSDP も私が会長をつとめ、副会長も同じく高久田先生にご尽力をいただいている。あつかわれるテーマは広範であり AOB でなされてきたカテゴリーの研究にはいかなる支障もないことを付記しておきたい。

顎顔面バイオメカニクス学会
会長 川原 大

【日本歯科産業学会 (JSDP) への入会手続きについて】

http://www.kaobio.org/. /aob_jsdp.pdf